



令和 7 年 6 月 号
杉並区立堀ノ内子供園
園 長 大塚 玲華

「自分らしさを発揮して」

特別支援教育コーディネーター 日下部 美紗

新年度が始まり、2か月が経とうとしています。進級した子も今年度入園した子も、保育室や園庭で、好きな遊びや場所を見つけて過ごしています。

先生とも少しずつ信頼関係ができてきて、楽しかったこと、嬉しかったこと、困ったことを、言葉や表情で伝えてくれる姿が増えてきています。

子供園の子どもたちは、好きなことも、得意なことも、苦手なことも、様々です。私は5歳児きりん組の担任をしていますが、好きなことに夢中になっているときの子どもたちの目は、本当にきらきらと輝いています。また、体を動かすことが得意な子は、運動遊びで力を発揮したとき、年下の子に優しくすることが好きな子は、年下の子を助けてあげたとき、とっても嬉しそうな顔をします。一方で、見通しのもてないことが不安な子が初めての活動に臨むとき、手先を細かく使うことが苦手な子が手順の多い製作に向かうとき、硬い表情で困っています。

子供園では、子どもたち一人ひとりが、得意なことも苦手なことも、自分に自信をもって生活できるように、「誰にとっても分かりやすい環境」を工夫しています。これが、堀ノ内子供園の特別支援教育だと考えます。

5歳児きりん組の子どもたちは、学級全員で遠足に行き、乗り物に乗った経験をもとに、今、友達と一緒に遊園地の乗り物を作っています。乗り物をつくる中で、友達と考えを出し合い、イメージやめあてを共通にしながら進めていくことを大切にしています。環境の工夫として、遠足で乗った乗り物の写真を掲示しています。写真という視覚情報もあることで、乗り物作りについて、言葉だけでは自分の思い描いていることを説明しづらい子が「このことだよ」と相手に伝えやすくなったり、話を聞くだけでは想像しづらい子が「そういうことか」と分かりやすくなったりします。

他にも、子供園では、1日の生活について見通しがもてる表示を保育室に掲示したり、次の日の予定について前日に知らせたり、新しい遊びについて手作りの紙芝居などを使って紹介したりと、子どもたち一人ひとりが、安心して、自分らしく園生活を送れるように、どのクラスでも実態に応じた工夫をしています。

今年度改定された杉並区特別支援教育推進計画の理念は、「すべての子どもが、自分らしく生きていくことのできるまち」の実現です。幼児期の子どもたちも、性格や、これまで経験してきたことから、好きなこと、得意なこと、苦手なことなどが違い、それぞれ「自分らしさ」をもっています。どの子も自分らしさを十分に発揮しながら、「わかる!」「やりたい!」「楽しい!」と園生活を送れるように、環境や援助の工夫を通して支えていきます。



今月の指導

うさぎ組

園生活に慣れてきて、身の回りのことを自分でやってみようとしたり、やりたい遊びを見つけて安心して遊んだりするようになってきました。ウレタン積み木を使った場作りや、粘土や泥の感触遊び、クレパスやセロハンテープを使った製作、園の遊具・教材を用いた遊び等を「やってみたい!」と楽しんでいます。繰り返し楽しんでいる虫探しや木の実探し、おままごとといった遊びでは、自分のやりたいことを楽しむ中で、同じ場にいる子の存在も嬉しく感じるようになってきました。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 保育者の声かけを受け、身の回りのことを自分でやってみようとする。
- 保育者や身近にいる幼児と触れ合い、一緒に過ごす。
- 好きな遊びを見つけ、自分なりに楽しむ。

生活面でも遊びでも少しずつできることが増えてきて、嬉しい気持ちをもっている一方で、疲れが出たりすることもあるかもしれません。ご家庭ではぜひお子さんの気持ちを温かく受け止めてください。一緒に育ちを見守っていきけるよう、何気ないことでもお気軽にご相談いただければと思います。

ぱんだ組

保育者や友達と一緒に、同じ場所や同じものを身に付けて遊んだり、友達のしていること、作っているものから刺激を受け「自分もやってみたい」「作りたい」という気持ちをもって遊んだりするなど、“友達と一緒に”が嬉しいぱんだ組の子どもたちです。身近な虫への興味から、ダンゴムシ製作や虫になりきって動くことを楽しんだり、学級全体の活動で行っている引っ越し鬼「おおかみとこぶた」のイメージから、こぶたのお家作りやこぶたごっこを楽しんだりするなど、自分の興味のあることや学級全体の活動で楽しんでいることが遊びにつながっています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 保育者や気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 自分の思いを言葉や動きで表して遊ぶ楽しさを味わう。
- みんなで体を動かす楽しさや心地よさを味わう。

気温の高い日が少しずつ増えています。季節の変わり目で、体調を崩しやすかったり、暑さから疲れが出てきたりする時期だと思います。食事や睡眠をしっかり取るなど、体調管理をしていただき、元気いっぱい遊べるようにご協力お願いいたします。また、今月から水遊びが始まります。子どものそれぞれのペースで、水の感触を楽しんだり、解放感を味わったりして、水遊びを楽しんでいきたいと思っています。

きりん組

きりん組になって、大型積み木やキングブロックを使って大きな場所や動く乗り物が作れる面白さを感じて遊んでいます。友達と一緒に1つのものを作る場面で「ぼくがここを作るから、〇〇くんはそっちをよろしく!」「オッケー!」と自分たちなりに役割を分担しながら作ろうとする姿も見られるようになってきました。井の頭自然文化園へ遠足に行つて以降、2～3人の友達と力を合わせて乗り物や動物園を作り、再現して遊ぶことを楽しんでいます。できあがると、友達や年下の学年を呼びに行つて、乗ってもらうことが嬉しく、自信につながっています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 自分の遊びを「こうしたい」という思いや願いをもち、実現していこうとする。
- 自分の考えを友達に伝えたり友達の話を聞いたりしながら、一緒に遊びを進めていこうとする。

年長に進級し2か月が経ちました。ごっこ活動も始まり友達との間で折り合いをつけようとする場面も増えています。楽しい日々ですが、疲れも出てくる時期です。ご家庭ではゆったりとお子さんの気持ちを受け止めていただき、気になる様子があればお気軽にお知らせください。